

「オールジェンダートイレ」の 「オール」とは誰か？ ～ICUの試み～

加藤恵津子（国際基督教大学）

@ 関西交通経済研究センター バリアフリー推進勉強会

2022年1月31日

Q: 以下のトイレはどこが違う
でしょうか？

- ・ 多目的トイレ
- ・ 誰でもトイレ
- ・ ジェンダーフリー・トイレ
- ・ オールジェンダー・トイレ



これらはすべて、同じものを指すことができます。
しかし、言葉がもたらす印象は異なります。

例)

多目的 ⇒ 障害や持病のある方のものかな？

= 誰でも ⇒ じゃあ私も使っていいのかな

(でも事情のある人優先だよね)？

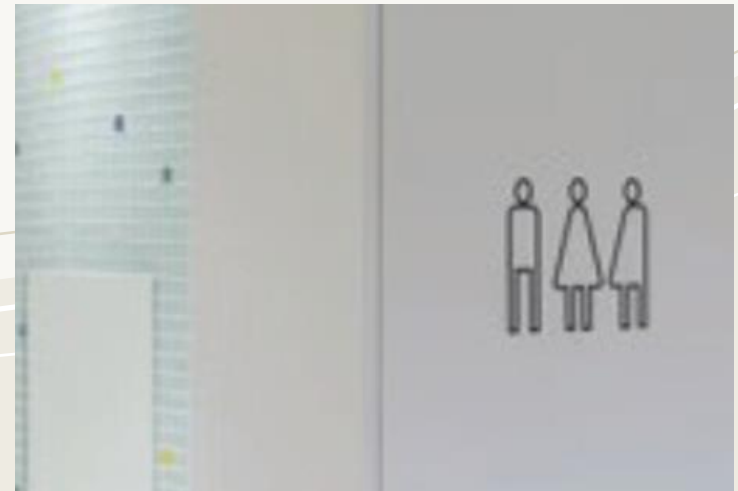
ジェンダーフリー

⇒ 自分のジェンダーを捨てないといけないの？/
自分を女性/男性だと思っている私は使っちゃだ
めだよね？/「過激思想だ！」 (誤)

「オールジェンダー」という言葉

= あらゆる「ジェンダー（アイデンティティ） / 性自認」

自分を女性だと思っている人（身体は女性[cis]または男性[trans]）
自分を男性だと思っている人（身体は男性[cis]または女性[trans]）、
時によって違う人（flux）、
どちらか一つではないと思っている人(non-binary)...





2020年9月

**ICU（国際基督教大学、東京都三鷹市）に
オールジェンダートイレ設置**

本館（もっとも多くの授業が行われる校舎）

エレベーター近く & もっとも目立つ場所

1～3F

フロアごとの個室数：11

もとは男女別トイレがあった場所

（1, 2Fには従来の男女別トイレも存続）

よくあるご質問： 「なんで作ったの？」

なんで = ①Why
(なぜ)

②How
(どのように)



①Why：なぜ作ったのか

直接の理由： もともとトイレが古く、改修が必要だった
どうせ改修するなら、**新しい発想で**
(管理部管財グループ)

But why 「新しい発想」 = 「**オールジェンダートイレ**」？

「ジェンダー・セクシュアリティに 敏感な大学」に向けての歴史



2004 ジェンダー研究センター（CGS）設置

2005 「ジェンダー・セクシュアリティ研究」プログラム開始

⇒学生主導の動きが目に見える形に

- ・ 学生団体シンポジオンが、LGBTQ＋学生の声、
大学への要望を発信
- ・ CGSの助手（**大学院生**）たちが、独自にLGBTQ＋学生のための
ガイドブック、その他ガイドを作成 Etc.

学生団体が発信した学生の声

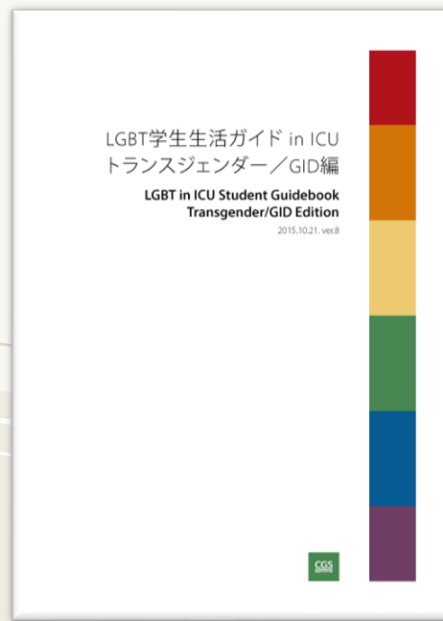
- ・男女別の寮では生活しづらい（「男同士〇〇しようぜ」、ホモフォビア=同性愛嫌悪的な言動、Etc.）
- ・男女別シャワールームや風呂（寮、体育館）で、「同性」にも体を見られたくない
- ・男女別の健康診断で、「同性」にも体を見られたくない
- ・トイレを我慢してしまう。男女別トイレでは違和感があるし、多目的トイレには人目が気になって入れない Etc.

ジェンダー研究センター助手による発信 (紙媒体 & オンライン、2015～2016)

- ・ キャンパスの「だれでも（多目的）トイレ」の場所を示した地図
- ・ 性別変更により、氏名変更する場合の学内手続き Etc.

⇒ **学外から、大学へ**の問い合わせ増加

⇒ 「ジェンダー・セクシュアリティの多様性に敏感であるべき」という、**大学全体の意識**が徐々に増加





新設寮



オールジェンダートイレ

- ・ 名簿の男女（M, F）の表記廃止
- ・ 体育の授業の男女別クラス分け廃止
- ・ 2017 新設の寮に
「ダイバーシティ・フロア」
- ・ 2020 **オールジェンダートイレ**
- ・ 2021 学生健康診断にオールジェンダー
時間帯
- ・ 2022 ほとんどの書類の性別欄廃止、
一部のみ三択（男性/女性/指定なし）

②How:どのように作ったのか

- ・ 管理部管財グループによる発案、理事会による承認
- ・ 管財グループ、財務理事、学生部長（加藤）、設計会社、建設会社によるミーティングの開始
- ・ **学生への事前アンケート …設置することを前提とした意見調査**
- ・ ジェンダー・セクシュアリティ研究の教員に意見を聞く

Etc.

教職員・学生の反応（回答数：96）

- ・ 少数の明らかな喜びの声
- ・ 少数の明らかな反対の声
- ・ 多数の賛否いりまじった声
- ・ 具体的な不安の記述

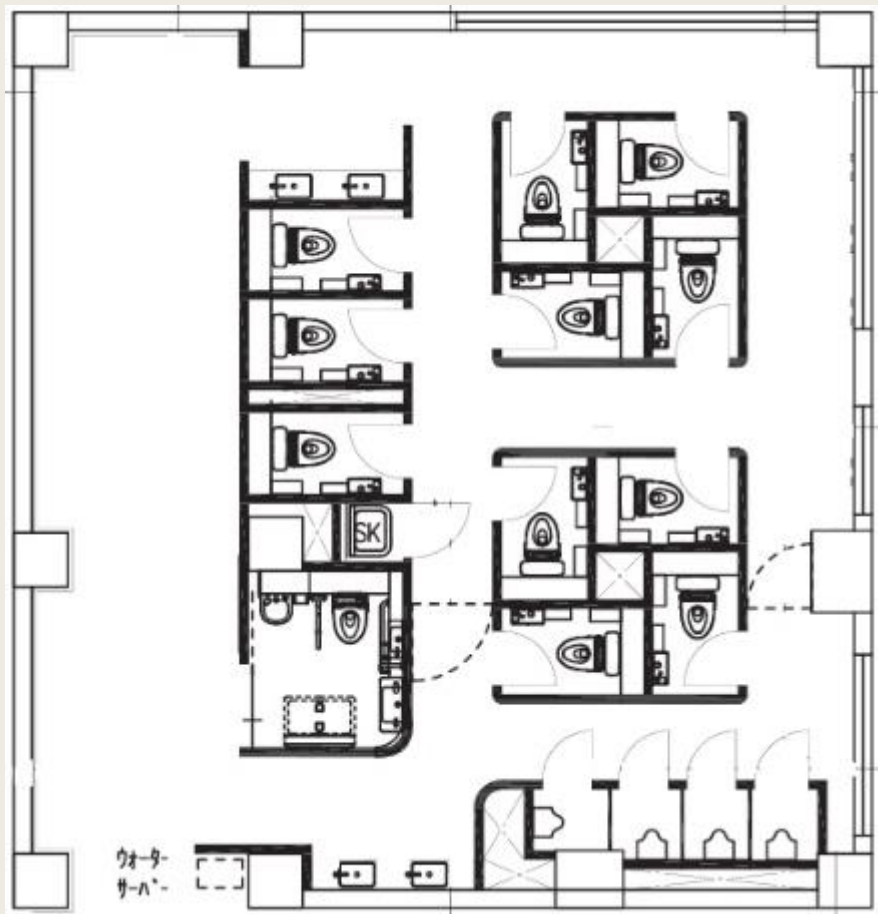
「音が隣の個室に聞こえたら恥ずかしい」

「個室に出入りするときに異性に会ったら気まずい」

「男子が使ったら汚れるのでは」（教員も同意見）

⇒ **すべて設計の参考に！**

＋ 管理部管財グループから学生たちへの返答メッセージ



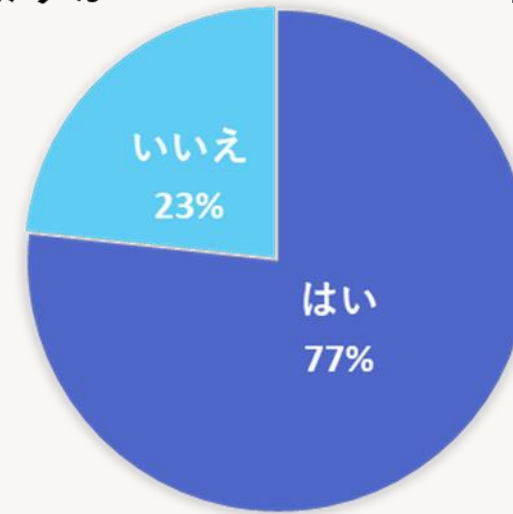
- ・ 防音（壁を厚くし、天井まで）
- ・ 出入り口と洗面台を二つ離して設置
- ・ 男子小用ブースを片方の出入り口近くに設置（なんとなく男女別の導線）
- ・ 個室ドアの向きをかざぐるま状に（はちあわせを防ぐ）
- ・ 行き止まりを作らない
- ・ 可動式の壁により、空間を二つに分けることもできる（状況や要望により）
- ・ いわゆる多目的トイレ（車椅子・オストメイト）も一つ、一番手前に Etc.

一学期＝3か月後の学生アンケート (2021年11月、回答数：266)



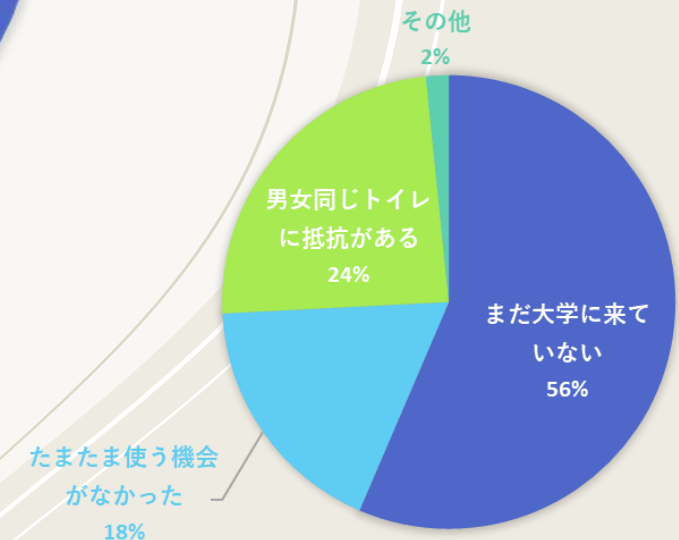
Q1: オールジェンダートイレを使ったことがありますか

はい : 204
いいえ : 62



Q2: 使っていない理由

まだ大学に来ていない : 35
たまたま使う機会がなかった : 11
男女同じトイレに抵抗がある : 15
その他 : 1



Q3: オールジェンダートイレについての満足度

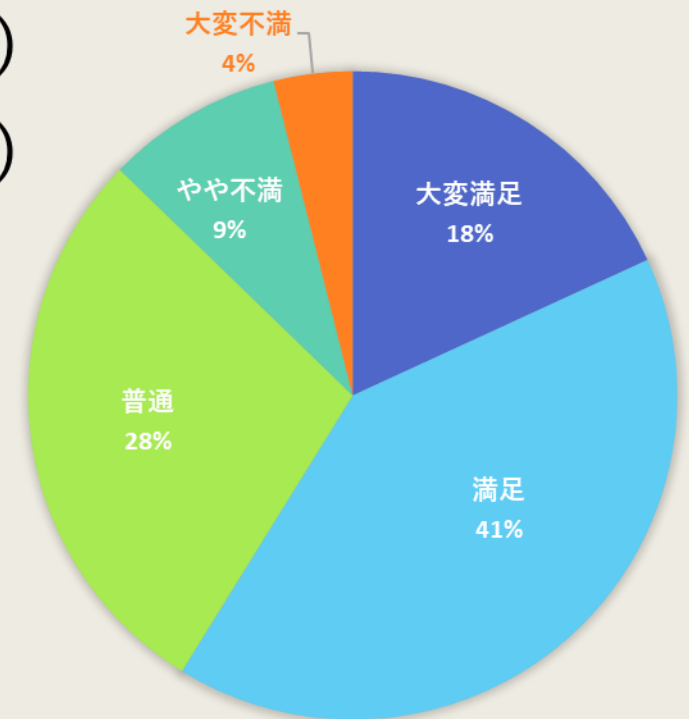
大変満足 : 37 (18%)

満足 : 83 (41%)

普通 : 58 (28%)

やや不満 : 18 (9%)

大変不満 : 8 (4%)



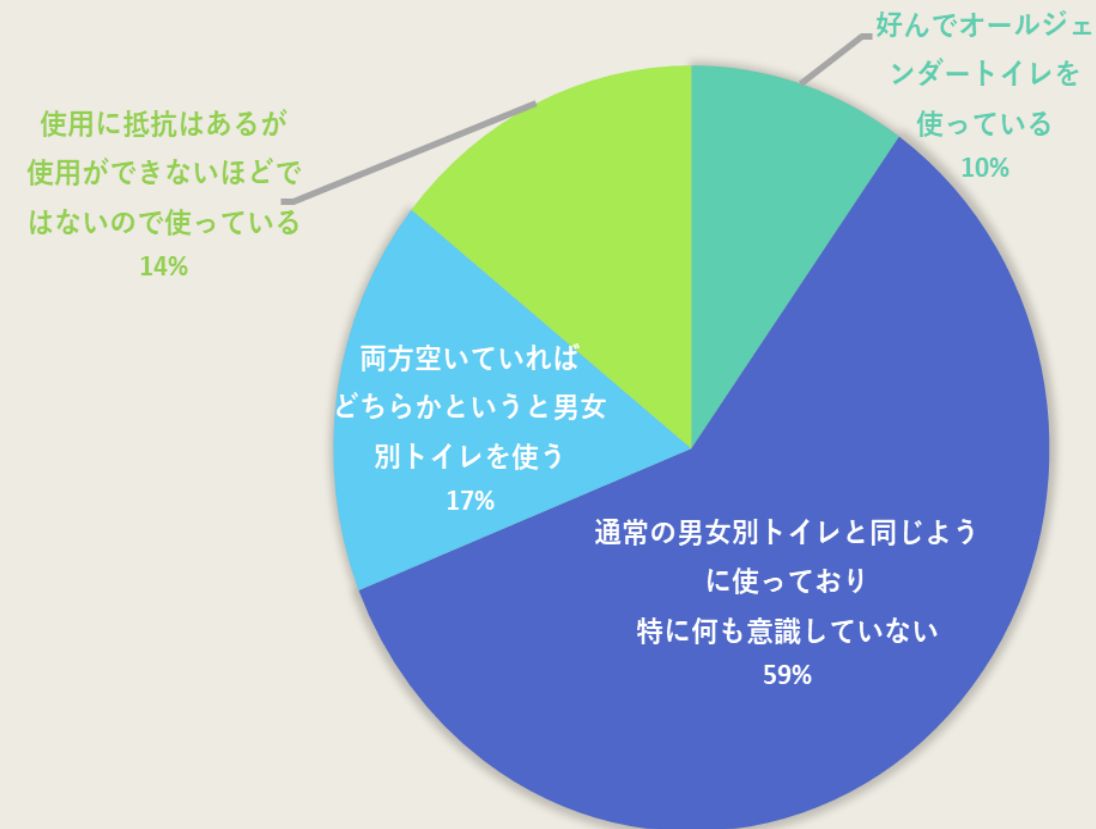
Q4: オールジェンダートイレを使う際の意識について

好んでオールジェンダートイレを使っている 20

通常の男女別トイレと同じように使っており特に何も意識していない 120

両方空いていればどちらかというと男女別トイレを使う 34

使用に抵抗はあるが使用ができないほどではないので使っている 29



2021年11月（一年後）アンケート（回答数：307）

- ・未使用 10

（大学に来ていない、違和感、たまたま機会がない）

- ・やや不満 6 大変不満 2

（迷路みたい、異性がいそうで不安）

- ・ **他の回答者（297人）は、使用し、大変満足/ 満足/ 普通**

（きれい、安心感、やや狭い、迷う、可もなく不可もない）

（存在することに意義がある、考えるきっかけになる、本学らしい） Etc.

本日の結論： オールジェンダートイレは、

①ジェンダーだけの問題ではない。

「個人」の尊厳の守られた、安心できる、快適なトイレでありうる。

②トイレだけの問題ではない。

トイレだけオールジェンダーにしても意味はない。

職場/学校/施設が、**全体として**どの方向に向かうかが、まず重要。

最後に：よくあるご反応へのご回答

「犯罪が起きたらどうする」「お金/場所がありません」

⇒本学は、あらゆるトイレがオールジェンダーであるべきという立場にも、個々のケースに助言する立場にもありません。周囲の環境、利用者の顔触れ、資金、スペースなど総合的に考慮され、個別に判断されることをお勧めします。

ご清聴ありがとうございました